

経営比較分析表（令和4年度決算）

青森県 八戸市

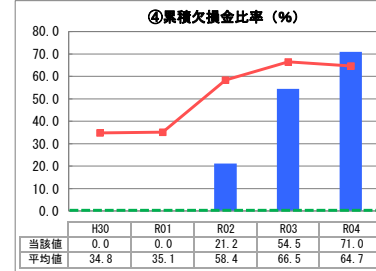
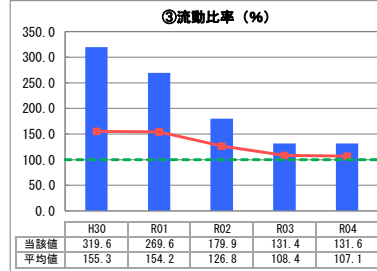
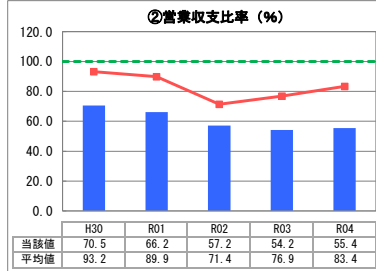
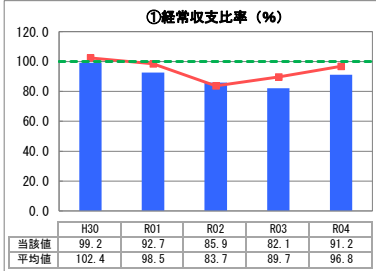
業務名	業種名	事業名	管理者の情報
法適用	交通事業	自動車運送事業	非設置
資金不足比率（％）	営業路線（km）	年間走行キロ（千km）	在籍車両数（両）
-	177.3	3,351	115
職員数（人）	管理の委託割合（％）	民間事業者の有無	地域公共交通計画策定の有無
201	-	有	有

※民間事業者の有無とは、行政区域内で民間バス事業者が運行しているかどうかを指す。

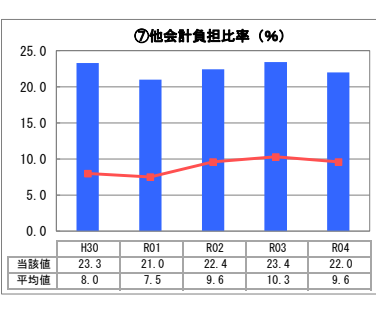
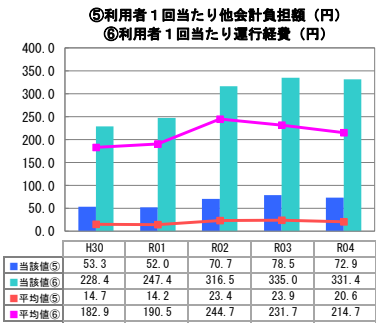
	H30	R01	R02	R03	R04
年間輸送人員（千人）	6,831	6,533	5,315	5,323	5,155
他会計負担額（千円）	363,755	340,000	376,000	417,883	376,000

1. 経営の健全性

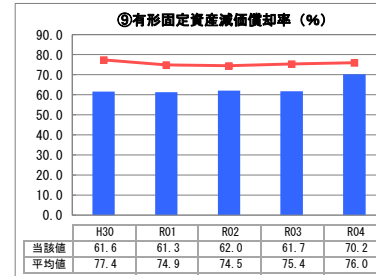
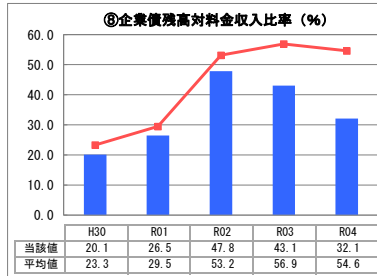
○事業の状況



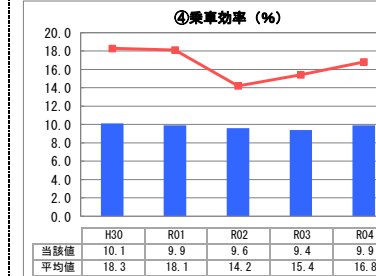
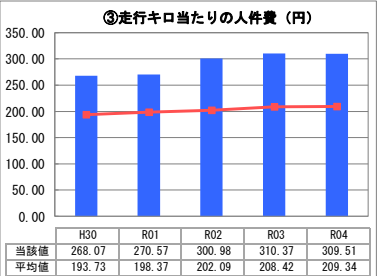
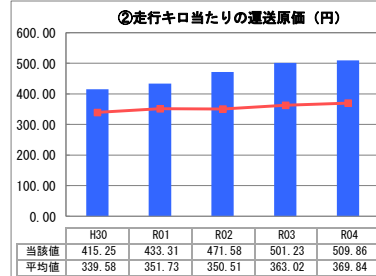
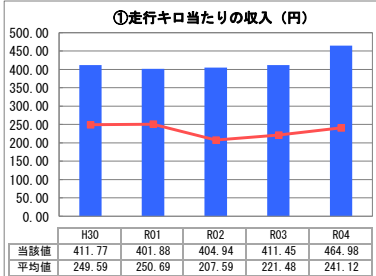
○独立採算の状況



○資産及び負債の状況



2. 経営の効率性



※民間事業者平均値は当該団体が所属する標準原価ブロックの民間平均値

分析欄

1. 経営の健全性について

新型コロナウイルス感染拡大及び少子化などの影響により運賃収入が減少する中、八戸圏域地域連携ICカード「ハチカ」を導入し感染防止対策を取りながら安全安心な運行に努めたところである。①経常収支比率と②営業収支比率は、平均値を下回るが他会計補助金の収入や事業費の減により前年度と比較し改善している。運賃収入を維持していく必要があるため、「ハチカ」の利便性等を周知するなど利用者の確保に努める。

③流動比率は、令和4年度も100%を超えているが、運賃収入は減少傾向が続いており平均値との差が縮小してきていることから、資金不足に陥ることのないよう、一層の経営改善に取り組むとともに、市からの補助金を確保できるよう努める。

④累積欠損比率は、令和2年度以降の計上となっており、厳しい経営状況が続いていることから一層の経営改善を図り運賃収入増加に努める。

⑤利用者1回当たり他会計負担額及び⑥利用者1回当たり運行経費は、平均値を上回るもの前年度より数値は改善しており、「ハチカ」の利用データ活用などによる利用者の確保や経費削減に努めていく。

⑦他会計負担比率は、前年度より改善しているものの平均値を上回っていることから、運賃収入などの増加に努め比率の減少を目指す。

⑧企業債残高対料金収入比率は、企業債残高の減少により数値が減少し平均値を下回っているが、必要な更新を行うために運賃収入の増加に努める。

令和4年度はICカードシステムに係る減価償却の開始により⑨有形固定資産減価償却率の数値は上昇した。公営企業平均値を下回っているが厳しい経営環境の中で中期的な更新等を実施していく必要がある。

2. 経営の効率性について

①走行キロ当たりの収入は、令和4年度に市からの燃料費等の補助があったため事業収益が増となった。

令和4年度は年間営業走行キロが減ったが、減価償却費の増や部材価格高騰、燃料高騰に伴う物件費の増により、②走行キロ当たりの運送原価は前年度と比較して上昇しているため、中古バスでの車両更新とするなど減価償却費や維持管理費等の費用削減を図る。

令和4年度は前年度より社数数が減った影響から③走行キロ当たりの人件費は平均値を上回っているものの前年度より改善しているが、今後、慢性的な業務員不足に対応するため会計年度任用職員運転士等の待遇改善を図っていく必要がある。

④乗車効率は、公営企業平均値を下回る概ね10%程度で推移しており、公共交通として利用者の利便性の維持に努め利用しやすいダイヤを編成を行う必要がある。

全体総括

市営バスは、昭和7年の創業以来、公共交通としての役割を果たしてきているが、バス利用者が年々減少している。

運賃収入のみでは人件費や燃料費などの物件費を賄うことが難しく市からの補助金により事業を継続している状況にある。

新型コロナウイルス感染拡大の影響による年間輸送人員の減が令和4年度も輸送人員は回復しておらず、非常に厳しい環境が続いている。

今後も令和元6月に策定した八戸市自動車事業経営戦略に基づき、より利用しやすいダイヤを編成するなどサービス向上を図ることによりバス利用者及び運賃収入の減少傾向に歯止めをかけることと、バス車両の更新を中古バスの購入とするなど支出の削減に取り組む。将来にわたって市営バスの運行サービスを安定して提供できるよう努めていく。